

\\ 第5回 //

ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ

受賞者
決定!

ハハの

ステキな子育て

エピソード満載!



みえの**育児男子**フォトコンテスト
ベストショット賞決定!

ファザー・オブ・ザ・イヤー

結果発表!

in みえ

夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高いという調査結果もあることから、三重県では少子化対策の重要な項目の一つとして、「みえの育児男子プロジェクト」と銘打ち、男性の育児参画の推進に取り組んでいます。また、男性の育児参画は、夫婦の絆を深め、家庭における子どもの育ちにも大きく関わっています。

「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」は多く

の県民の皆さまに、男性の育児参画について関心を持っていただくことを目的に、男性の子育てにかかるエピソード等をご応募いただき、多くの共感を得られた方々を表彰し、その内容を紹介する取組です。

5回目となる今回もたいへん多くのご応募をいただきました。ご応募いただいた皆さま、本事業にご協力いただきました企業や団体の皆さまに対し心より感謝申し上げます。



大賞

“食べる”をテーマに家族みんなで楽しいコミュニケーション

共感Point

★共食にてコミュニケーションを図るとともに、家庭菜園を通じて食べる喜びを伝えていることに共感の



田中 信之介さん 津市
子ども 7歳、10歳

平日の夕食は私の仕事や子どもの習い事もあり、一緒に食事をするのができないため、家族みんなで過ごす時間を大切にしたいと考えていました。その中で、子どもたちが小学校で学んだ「食育」の一環として「共食」と「旬の野菜を食べる」ことに取り組んでいます。

Check! 朝食は家族みんなで!

「共食」については、朝食は必ず家族で一緒に食べることを実践。平日の朝は慌ただしく時間がない中、子どもたちも率先して配膳等のお手伝いをしています。朝食をとりながら、学校の話などコミュニケーションをとり、家族団らんの一時を大切にしています。

Check! 家族で家庭菜園を楽しむ!

また「旬の野菜を食べる」については、家庭菜園でキュウリ、ナス、トマト、オクラ、枝豆などたくさんの野菜を育てています。子どもとは畝づくりから植えつけ、水やり、草取り、収穫まで農作物の成長を一緒に観察しながら育てる



たいへんさ、収穫の楽しさ、自分で育てた旬の野菜を食べる喜びなど、私が昔、親から教えてもらったことを子どもたちにも伝えられるよう、親子の時間を楽しんでいます。

Check! 週末の朝食はパパが担当

平日は妻に家事全般をやってもらっているため、週末の朝食などは妻の家事負担軽減のため積極的に作っています。また、パパ料理教室に娘と参加。学んだメニューを自分のレパートリーとして取り組みたいと思います。

部門紹介

01 みんなの子育てエピソード

部門

パパ流子育てのアイデアや子育ての楽しみ方など幅広い“パパ話”を紹介!

02

わが社のイクボス

部門

部下の“仕事と家庭の両立”の背中を押す、ステキな上司・先輩の話を紹介!

大賞 P.02～ みんなの子育てエピソード部門

部門賞 P.05 みんなの子育てエピソード部門

P.06 わが社のイクボス部門

グッドエピソード賞 P.07～ みんなの子育てエピソード部門

P.13～ わが社のイクボス部門

P.16 みえの育児男子フォトコンテスト ベストショット賞

スペシャルトーク P.17～ イクボスのススメ ～従業員がイキイキと働ける風土をつくるには～

協賛企業

(株)伊賀の里 モクモク手づくりファーム・NEMU RESORT・里創人 熊野倶楽部



ひとりではできない子育て。パパのおかげで私も笑顔でいられます。

共感 Point



橋口 誠さん 鈴鹿市
子ども 1歳、10歳、12歳、14歳
推薦者 橋口千恵子さん(妻)

☆たいへんな中でも、「パパと一緒にがんばってくれるから笑顔で息子に接することができます」というところに前向きな気持ちを感いりし、感動しました。

息子(1歳)は先天性心疾患と重度の脳性麻痺があります。医療的ケアも必要で、息子の子育ては想像以上にたいへんですが、パパは息子の痰吸引や栄養の注入、リハビリも積極的に協力してくれます。夜もケアでなかなか眠れないのですが、翌日仕事があるにも関わらず、交代してお世話をしてくれます。

今では息子が苦手なお風呂も、パパとなら泣かずに入れるようになりました。

私一人では絶対にできなかった。でも、パパと一緒にがんばってくれるから、笑顔で息子に接することができます。本当に世界一素敵なパパです!



「ありがとう」「お母さんすごいよ」と言葉で伝えてくれる夫に感謝

共感 Point



森田 竜也さん 松阪市
子ども 0歳
推薦者 森田幸恵さん(妻)

☆夫婦がお互いを尊重し、その姿を子どもに見せたいという思いが素晴らしい。
 ☆ママが「自身へのメンタルサポートが一番助かっている」と思えるところに愛を感じる。

子育ては母親1人ががんばるのではなく2人でする、ということを大事にしている夫。仕事の休みが少ない中でも、時間が空いた時には率先して子どものお世話をしたり遊んでくれています。

Check! お互い尊重し合う関係づくり

夫婦がお互いのことを尊重し合う姿を見せたいという思いがあるようで、いつも「ありがとう」の言葉とともに「お母さんはすごいよ」と娘に声をかけてくれています。

私が保育士として働いていたこともあり、私の子育てを尊重してくれてはいますが、夫婦での話し合いにも真剣に向き合ってくれて、2人で子育てをしている実感を持たせてくれます。

娘と関わることはもちろんですが、実のところ、私へのメンタルサポートが一番助かっている部分だったりします。

実際に夫と接する時間が短くても、長く接している私が夫を頼りにしているという思いは



きっと娘にも伝わるし、娘の父親への信頼感につながっていると思います。





パパにしかできない全力の遊び。
子どもたちから感謝の言葉！



小林 幸司さん 玉城町
子ども 5歳、8歳、10歳
推薦者 小林 樹稀さん(子)

子ども ▶ パパへ

パパいつもサッカーをおしえてくれてありがとう。また野球も教えてね。いつもありがとう、大すきだよ。でもたくさんおこらないでね。そしてごはんうどん、やきそば、チャーハン、おこのみやきとか、ずっとあきないおいしいよ。いつもありがとう。

ママのコメント

子どもの勉強も遊びも思いっきり全力でしてくれます。スポーツをいっぱい教えてくれます。子どもたちにママが大スキってところをいっぱい見せることで、みんないつも楽しく笑顔でいられると思います。

共感 Point

★子どものパパへの
素直な思いが伝わってきます。

共感 Point

★パパが見せられる技術
(音楽)を家族みんなが
楽しんでいる様子が伝わってくる。



濱口 恵太さん 松阪市
子ども 1歳、3歳、5歳
推薦者 濱口 江莉香さん(妻)

パパはギターのできる演奏ができるので、ギターを弾きながら子どもたちと歌っています。たまにイベントなどでお客様の前でパパがギターを演奏し、子どもたちが歌をうたって披露することもあります。

共働きなので家事は私が言わなくても手伝ってくれます。食器洗いはほぼパパがしてくれます。

仕事が早く終わると子どもたち3人を連れて散歩に行ってくれたり、外で遊んだりしてくれ、子どもたちは大喜びです。

パパの特技・趣味を
子どもたちと一緒に楽しむ！



中部電力 電力ネットワークカンパニー 津営業所
岡野 直高さん
推薦者 杉本 隆美さん(部下)

岡野課長は、部下が早く帰って仕事とプライベートを楽しむことができるよう、自らが率先して定時退社し、気を配ってくれます。口癖は「効率よく仕事をしよう!」で、優先順位を考えて、ムダなく仕事を進める工夫をしてくれます。職場懇談会ではスイーツの差し入れをしてくれるなど、風通しの良い職場づくりを常に考えてくれています。

ノ一残業デーにはみんなの業務の進捗状況を確認し、「はよ帰ってな!」と声をかけたり、働きやすさを考えてすぐにアクションを起こしてくれるほか、メンバーの相談にも親身になって乗ってくれるなど頼れるボスです。

昨年、私たちの前で「イクボス宣言」をされ、その言葉に、私たち部下に対する熱い思いを感じました。「有言実行」されていて、部下一人ひとりとしっかり向き合い、コミュニケーション



イクボス宣言をして有言実行!
課長自らおこす行動で働きやすい環境に

をとってくれています。
また、自らもお子さんを3人育てる課長は、家族を大切にしていることを職場でもオープンにし、とても親しみを感じて、私たちも自然と家族の話をしています。とても気さくで明るくて、そんな課長の姿にいつもエネルギーをもらっている私たちです。

共感 Point

★育休やノ一残業デーなど制度はあっても
実態が伴わない組織がある中、上司の
人柄は大切。明るくてエネルギーを
もらえる人柄は素晴らしい。

共感 Point

★節目節目の支援金制度が、
従業員の家族のことを考えていると感じるの
★ソフト面でも家族の顔が見える関係を
重視しているところが素晴らしい。



岡田パッケージ(株)
岡田 光生さん
推薦者 村林 千夏さん(部下)

わが社では、育児休業復帰後の短時間勤務制度や、子どもの急な熱などの時に看護休暇を1時間単位の有給で利用でき、非常に助かっています。また、次世代育成支援金で、出生時から高校卒業までの節目で6回、合計約50万円のお祝いをもたらる制度があり、ありがたいです。

ファミリーデーやお花見など家族を招待してくれるイベントがあり、毎年子どもたちが楽しみにしています。また、上司や同僚に家庭環境を知ってもらう機会にもなっています。

家族のことを
思った制度や
行事がうれしい





岸田 諭祀さん 四日市市

子ども 9歳、11歳
推薦者 本人および岸田 謙暉さん(子)



子どもと一緒に家事を楽しむ

夫婦フルタイム共働きなので、1人が早朝出勤して仕事を片付け、もう1人が残業するなど、勤務が重ならないようにしながら実務をこなしています。また夕食は早朝に仕込みをして、夕方は温めるだけにしています。ちなみにパパは汁物担当です。

洗濯物干しの際など、子どもたちと一緒に楽しく干しています。おしゃべりして子どもたちと触れ合う時間になります。

料理は小学3年生の次男と一緒にしたがるので、包丁の使い方や火加減、味付け等、楽しく、時にはしっかりと伝えながら、危ないからさせない、時間かかるからさせないではなく、やりたい気持ちを大切にしています。

子ども ▶ パパへ

うちのパパはお家でせんたくものをしています。あと、とってもりょうりがじょうずです。

考えた結果が今の形です。

夫は毎朝起きると、洗濯物を畳み、子どもたちの着替えを手伝い、トイレトレーニング中の息子にも、「上手にできたね!」と声をかけながら、毎朝保育園まで送り届けてくれています。私が忙しい時は、お迎えから食事、お風呂へ入れて寝かしつけまでこなすスーパーパパです。

夫にとって子どもたちと接することや、家事をこなすことは当たり前のことなんだと思います。でも、それは当たり前のことじゃなくて、私にとってはすごく幸せなことだと思っています。夫が共に仕事に家事に育児に積極的に関わってくれるから、私は子どもたちに笑顔でいられるのです。

家事を楽にする工夫でママを笑顔に



青柳 尚さん 鈴鹿市

子ども 5歳
推薦者 青柳 智絵さん(妻)

単身赴任なので、夫が家にいるのは土・日曜日のみですが、土日の朝食は娘と一緒に作ってくれます。また、娘と夫だけで、図書館へ行ったり、プールへ行ったりして、私が1人でゆっくり過ごせる時間を作ってくれます。



週に土日、限られた時間だからこそ、娘との時間を大切にしてくれます

子どもがやりたい!!
と言ったことは何でも一緒にやろうと努力してくれます。土日だけなのでとにかく子どもと一対一でゆっくり遊んでくれます。



伊藤 晋也さん 東員町

子ども 3歳、5歳
推薦者 伊藤 和さん(妻)

わが家は共働きです。朝は時間がありません。余裕をもって起きても、子どもたちの機嫌が悪いとなだめて朝食を食べさせたり、着替えさせたりと予定通りには行かない毎日です。そんな日々の中で、私たちは家事をできるだけ減らすため、

- (1) 洗濯物は夜干して朝畳む
- (2) 保育園の準備は、帰ってきたらすぐにする
- (3) 朝ごはんはなるべく定番化し、

作るのに時間をかけないに取り組みました。

日常生活において、なるべく笑顔でいるため、もっと楽に家事をしよう! 省けるだけ省こう! と



藤野 聖人さん 名張市

子ども 2歳、4歳



子どもと一緒に趣味も楽しんでいます

がんばっている家事は食器洗い、風呂掃除、掃除機掛けなどです。気が向いた時にパッとやるタイプです。達成感があります。

空手を習っていますが、今年は子どもを連れて行っています。(子どもは走り回っているだけです…) 長女が18kg、長男が9kgなので、ウェイト代わりに持ち上げたり、スクワットします。

家族みんな仲良しなので、家に帰るのが楽しみです。悩み事があっても独身の頃とは違う力が湧いてきて「なんとかなるか」って思えます。夫婦共に友人たちと一緒に遊んだり、関わりが多く私も楽しいです。



水谷 共志さん 大紀町

子ども 0歳

推薦者 水谷 美紀さん(妻)

仕事が休みの日、子どもを見るから、気晴らしに買い物とか好きなこととしておいでと言っ



て、出掛けさせてくれ、とても気分転換になります。子育て支援センターでイベントがあり、子どもを連れていきたかったのですが、私が風邪をひいてしまって、朝「行くのやめてお

うかな」と夫に相談したら、「自分休みだから連れててよ」「風邪気味だし家でゆっくり休んでな」と言って連れていってくれたことがありました。子どもも夫もイベントを楽しめたようでした。

普段から時間があるときは子どもとたくさん関わってくれ、家事もしてくれます。



休みの日にママ1人の時間を作ってくれる



坂口 文昭さん 津市

子ども 5歳、10歳

単身赴任で津に住んでいます。子どもたちには、東京で本格的に空手を習わせています。単身赴任で子どもとの触れ合いが少ないため、毎日子どもの空手の練習状況(組手、形)を妻



に動画で送ってもらい、その動画をチェックしています。

毎日子どもに電話し、空手のアドバイスのほか、その日の出来事を十分話す時間



離れていても、空手を通して子どもとの時間を作る

を設けています。ちなみに、平成30年の空手の実績として、長男は東京都大会でベスト16、次男は3位でした。月2回、東京の家に帰っていますが、そのときは空手以外の遊び(プール、サッカー等)と一緒に思う存分しています。



長谷川 真さん 鈴鹿市

子ども 1歳、4歳

推薦者 杉本 正直さん(会社の先輩)



マイナスからゼロ、ゼロからプラスの子育てへ

私の友人・長谷川さんの家は共働きで、2人の子どもを育てています。1人目が生まれたときは、ママが時間が足りず、できていなかった料理や掃除などをパパが手伝っていました。長谷川さんによると「マイナス」を「0」にするような育児サポートであったとのこと。

そして2017年に2人目が生まれました。長谷川さんはここで育児の方針を変換しました。

これまでは「マイナス」から「0」だったけれど、これからは「0」を「プラス」にすることをめざすことにしたとのこと。

今、長谷川さんが夢中で取り組んでいるのが服作りです。ミシンの使い方を母親から教わり、一反の反物から子どもたちには浴衣、自分たち夫婦にはアロハシャツを作っています。同じ柄の服を着て、みんなで出掛けるのは家族の絆を感じられ、実に嬉しい時間とのこと。

年末には作った服を着て、ミシンの使い方を教えてくれた母親に会いに行こうと思っているそうです。今から楽しみにされています。



吉岡さん 松阪市

子ども 4歳、4歳、8歳、10歳

推薦者 吉岡 友香理さん(妻)

日曜日など休みの日に趣味のBBQをすることが大好きな夫は、家にいるときは夕飯を作ってくれます。食材の買い物も一緒に行くのですが、県外に食材の買い物に行く日は、普段は行けない公園を探してくれ、公園→買い物のコースで子どもが喜ぶ時間も作りつつ、夕方からは自分の趣味のお肉の買い物へと休日をぎゅっと凝縮して過ごしています。おかげで外食も減りました(笑)。

日曜日は夫が夕飯を作ってくれるので、私も楽ですし、BBQの最後は子どもたちの大好きなマシュマロを焼いたり、いつも家族一人一人が楽しめるように配慮してくれています。私も週末が待ち遠しいです。

わが家では、趣味と家族の時間との両立はとてもバランスがよいと思います。その分平日は朝から夜遅くまで仕事ですが、週末のた



1日の休日、ぎゅっと凝縮した過ごし方

めにがんばられているようです。子どもたちにはパパが仕事をがんばってくれているからパパのいない土曜日や祝日もこうやって出かけられたり、ご飯を食べられたり、ゲームもできたりするんやよ、感謝しないとあかんよ、と伝えているので、子どもたちはパパへの感謝の気持ちを忘れず、一緒にいられる時間が充実しているのもあり、パパが大好きで尊敬しています。



時間がない中で、
子どもやママへの接し方がステキ



高林 紘さん 松阪市

子ども 1歳
推薦者 高林 菜々美さん(妻)

〈家族の時間と仕事、趣味との両立の方法〉
仕事が忙しい夫は、出勤する前の5分を大切にしてくれています。たった5分ですが、いっぱい抱きしめ、いっぱい話しかけ、いっぱい頬擦りしてくれます。夫も娘も、見ている私も、朝から幸せパワーを充電しています。
〈わが家のパパ流子どもとの過ごし方、遊び方〉



海外旅行が好きなの夫は、娘に英語の絵本を読んでくれます。海外のカラフルで綺麗な絵と、お父さんの心地のよい声に、娘も興味津々で絵本をのぞき込んでいます。一緒に旅行に行ける日が、早くこないかな。

〈パパのがんばっている家事〉

仕事が忙しい夫は、家事をする時間が全くありません。でも、毎日私に「いつもありがとうね」「きれいな部屋は居心地がいいね」「今日のご飯も最高!」などと、思いやりの言葉をかけてくれます。おかげで、私の家事に対するモチベーションもあがり、毎日楽しくテキパキと家事ができます。夫の思いやりの言葉が、何よりも家事の時短に繋がります。



育児休業の経験を活かして…



横井 一人さん 津市

子ども 1歳、3歳

共働きのわが家。子育てや家事などをシェアして、妻の負担を少しでも減らすことができたらと思い、いろいろなことにチャレンジしています。

例えば、朝活。やはりどうしても、仕事を終えて家に帰ると、子どもたちがすでに寝ていることが多いです。そのため最近では、仕事前の早朝、子どもたちを連れて近所の公園で遊んでいます。早朝であれば、涼しいですし、人も少ないため、思う存分子どもたちと遊ぶことができます。

もう一つ挙げると、勤務先(日本政策金融公庫 津支店)のイクボス・田宮支店長の強い勧めで、育児関連休暇のほか、育児休業を取得して、主夫業にトライしたことです。体験して初めて分かる子どもの世話をしながらの家事の過酷さ。以来、時間が許す限り、いや時間を必死に作っては家事のサポートを行っているほか、結構な割合でお昼のお弁当を作ったりしています。

妻のレベルには到底及びませんが、幸い勤務先がワークライフマネジメントを強く推進しており、自分流の育児スタイルの確立に挑戦していきたいと思っています。



細かい家事まで協力しあえる
夫に感謝



櫻井 幸一さん 津市

子ども 0歳
推薦者 櫻井 しのぶさん(妻)

子育てが始まって以来、いつも一緒に子育てをしてくれます。「イクメン」という言葉に違和感が出るほど、当たり前のように、授乳以外は母親と同様の愛情を持ち、考え日々を送っているのを感じます。

何より、機嫌が良い時に見る、おむつを換える、抱っこする、で満足して「自分はやっているよ」ではなく、夜中に授乳を私がすることになるので、朝は早起きしてお弁当をつめ、洗濯物を干し、前日の洗い物の食器をしまい、ゴミをまとめて捨ててから出勤。帰宅後は抱っこにミルクに、おむつ換えに。食事の時間に子どもがぐずれば、日中ご飯をゆっくり食べることのできない私が食べることを優先して、あやしてくれています。

子育てにおいて、やはり子どもの面倒をみるのももちろん、家のこと、洗剤が無くなったな、次にこれを買って足しておかないとな、というなかなか目につかないけど、当たり前のようにある家事。子どものことだけでなく、それも踏まえた日々の積み重ねの時間を分担したり、協力したりと一緒にできることは子育てをする上でとても重要なことであり、それらを共有できる夫に改めて感謝です。

あえて家事を分担しない、
協力し合う家事



大井 賢さん 津市

子ども 6歳

フルタイム共働き核家族であるため、子どもと関われる時間は限られていますが、わが家における子育ての理念は、「家庭教育はすべての教育の基礎」ということです。

パパの子育ての関わり方に正解はないと思います。多分全てが正解であると思います。大切なのは、子どもの健やかな成長の本質を考え、願い、サポートする意識を持つことではないかと思います。

夫婦「同じ立場」が夫婦間での合い言葉です。家事・育児で男女間の差別化はしていません。私も妻もどちらもその時できるものが、家事・育児は可能な限り全て行い、協力し合っています。このようにフルタイム共働きなので、時間的にできる方が行うという合意のもとですが、それぞれの得意・苦手なこともあるので、話し合っって弾力的に役割を決めています。また、小学生になった娘は段々とお手伝いもできるようになってきて、今では家族全員で日々の生活を協力、助け合っています。





部下の急な休みにも柔軟に対応！ 自身や社員のプライベートも大切に！

子どもの体調や行事に合わせて全員が「お互いさま」の心で協力



（株）日本政策金融公庫 津支店
坂口 文昭さん 秋山 宏さん
 推薦者 倉田 夏実さん（坂口さんの部下）、中田 順哉さん（秋山さんの部下）



（株）津松菱
中川 幸子さんをはじめ
 同じ部署のメンバー
 推薦者 伊藤 麻理さん、鍋田 良恵さん

部下 倉田 夏実さん

私のボス、坂口課長は自宅のある東京では2児のパパ、会社のある三重では5人の部下を持つ課長と2つの顔があります。

会社では部下のワークを支えることはもちろん、部下の家族の体調、行事に応じ、休暇取得を推進しています。課内では急きょ休んでも良いように各担当者が今のような仕事をしているか毎日表を作成し共有しています。これにより、急な休みにも柔軟に対応でき、皆安心して休暇を取得しています。さらに私のような独身の部下でもリフレッシュ休暇を毎月1～2日は取得し、無理なくワークライフバランスを実践できています。

また、月に2～3度は自宅のある東京に帰り、家族サービスも忘れていません。

こうした坂口課長の姿、周りの妻子ある皆さんの姿を見ると、今後の結婚、出産後のワークライフバランスに何一つ不安を感じなくなります。こうした環境を構築している坂口課長はまさに自慢の「イクボス」だと思います。

部下 中田 順哉さん

私が家庭の事情で仕事を休まなければならなくなった時など、秋山課長はいつも快く応じてくれます。また、誰かが休暇で不在の時は課長自ら率先してその方の分の仕事も穴埋めをしているので、部下としては休みをいただきやすい環境で働かせていただいていると実感しています。

毎週金曜日はノー残業デーなのですが、課長が私たち部下に早く帰るように促してくれるので、実際にいつもより早く帰宅できています。また週末になると東京で暮らすご家族のところへ三重から毎週帰られているとても家族思いな先輩です。



上司 中川 幸子さん

私の担当売場では、5人中2人に子どもがいます。売場を円滑にまわすためには、シフト組みが大切になります。まず、子どもがいるスタッフは行事が重なりやすいので、休みの希望を伺います。その他のスタッフも土・日曜日、祝日等に休みが取れるよう配慮しています。

急に子どもの体調が悪くなったり、子どもの病状により何日もスタッフが休まないといけない時など人員不足になることもあります。担当売場以外のスタッフに助けをもらったり、シフトを変更できる人が代わったり、全員が協力しています。

急に休むことになるスタッフも非常に心苦しく感じると思うので、「困った時はお互いさま」と声をかけて気持ちを軽くできるよう、また、子どもがいる、いない、新人、ベテラン関係なくそういう心使いを全員ができる職場の雰囲気を作っていきたいです。

部下 伊藤 麻理さん

私は現在、5歳になる娘を育てながら働いています。社員でなくパートなのですが、妊娠が分かった時、仕事を続けていいものかと思いつつながら上司に報告をした時、すぐに上司から「育休使ったらいいよ！」と声をかけていただき、産休→育休1年間を取得させていただきました。育休明けは保育園に預けた直後から、今まで自宅という「無菌室」にいた娘は、ありとあらゆるウイルスに感染し、保育園からの呼び出しがひっきりなしでした。1カ月のうち、出勤した日の方がはるかに少ない…そんな月もたくさんあり、せつなく仕事へ復帰したのに皆に迷惑をかけてしまう自分の存在を「居ていいのか!?!」と何度も考えてしまう時もありました。でも「迷惑なんかじゃないよ! そばにいてあげて!」と上司が言ってくれ、休んだ分の私の仕事も何も言わずに上司や同僚がフォローしてくれました。今は娘も5歳になり、体も丈夫になってきたので、あまり休むことはなくなりませんが、今までたくさん迷惑をかけてしまった分、仕事はいつもプラスαでがんばろう!と思っています。そのことが今まで上司や同僚に助けてもらった私にできることだと思います。

部下 鍋田 良恵さん

会社には子どもが小学3年生を修了するまで時短勤務と、小学生になるまで子どもの看護休暇を年5回もらえる制度があります。

今、上の子が小学2年生、下の子が年長になるのですが、下の子が1歳になる年に3年間の産休育休を取らせてもらってから、仕事復帰し、時短勤務で働いています。突然の子どもの病気や学校・保育園の行事などについて、シフトを配慮してくれ、上司、スタッフのみんなに支えてもらい同じ職場で働けることに感謝しています。接客業のため、土・日曜日に休むことは難しいのですが、働きやすい環境を作ってくれる会社と上司、そして同じ売場のスタッフがいるから、私は仕事ができるのだと思います。



経営者や上司たちが
育児休暇や有給休暇取得を後押し



住友電装(株) 津製作所
榎 和行さん

私は製造部門の主任をしています。ある時、部下のAさんから「来月に育児休暇を取りたいが、今は職場に欠員が出ているので先延ばしにしようと思っている」との相談を受けました。この頃の職場は体調不良による欠員が二人出ていてギリギリの人員で操業しており、他職場も急な高受注による繁忙状況に入っていたため、応援要請も不可能でした。そこで私は職場の同僚であるBさんに声を掛け、Aさんの件を相談しました。

私:「来月Aさんに育児休暇を取らせてあげたいと思っているけど、どう思う？」

Bさん:「取らせてあげるべきだと思います。何とかやるでしょ! 何とかしましょ!」

私:「さすが! そう言うと思った。欠員しているから休めない、休ませないというのは嫌なんさ。僕らがそれぞれ1.5人分の仕事をしたり、何か考えてリカバリしよか!」

自分で言うのもなんですが、私の職場には二人のイクボスがいまして(笑)。Bさんとは日常からのコミュニケーションによる相互信頼、相互理解があったからこそ、迅速に対応できたと確信しています。

わが社は経営側や上司たちが従業員一人ひとりに目を向け、育児休暇対象者には積極的な声掛けを行い、各職場の実態に即して増員を図るなど、育児休暇や有給休暇が取得しやすい風土づくりを進めています。

今後は、私自身もより仕事と生活を楽しんでいけるよう、イクボスとして成長を続けたいと思います。



田畑 直也さん
近所の神社で開催されていたお祭り
大好きな青色のかき氷を食べてる父と子です!



亀山 透さん
お姉ちゃんがお父さんのお腹に乗って遊んでいた
ら、息子もよじ登って楽しく乗馬(?)しました。



奥出 開さん
いつもはパパに撮ってもらっている写真を「みう(娘)もとりたい!」と一緒に真似っ子して自分で作ったカメラを持ってバシャリ! 上手に撮れたかな〜?♡これから一緒に写真を撮るのが楽しみです!



PHOTO CONTEST

みえの育児男子



内藤 幾穂さん
単身赴任で普段あまり会えないパパと週末に公園へ。さわやかな青空のもと、たかいたかーいで息子も大喜びです。



内田 大哉さん
誕生日に家族みんなで揃いのシューズを履いて公園デビュー。たかいたかーいでとても笑顔のおてんば娘でした。

佐藤君義さん
仕事の関係で数日間、祖父が1日数時間娘を見てくれることに。娘に問いかけながら遊んでくれて、娘はいつもグズらず待っていてくれました。



小池 一成さん
夏休みに双子の息子たちとひまわり畑へ。お揃いの帽子は、みんながお気に入りです。



田中 健一さん
軽トラでプール、子どもより父親が楽しんでたかも。その姿を見せるのが一番!



イクボスのススメ

～従業員がイキイキと働ける風土をつくるには～



会社などで働く人の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス」を増やしていくためにはどうすればよいか。過去にファザー・オブ・ザ・イヤー in みえの「わが社のイクボス部門」で受賞された皆さんと鈴木知事が話し合いました。

イクボスとして心がけるようになったきっかけもしくは行動とは？

山下 イクボスに取り組み始めたのは、「女性も長く働いてもらいたい」「女性に正社員として定年まで働いてもらえる会社とは何か」を考え始めたことがきっかけです。

越村 私が結婚した頃は、結婚＝退職というイメージが強く、子どもが授かると「妊娠おめでとう」よりも先に「いつ退職するの?」と言われたことを

覚えています。自分がイクボスとして心がけていることは、**自らが率先して「ワーク」も「ライフ」も楽しんで、人生を楽しむということです。**

石川 イクボスを意識し始めたきっかけは、**子どもができたことです。**夕方にお迎えでソワソワしている従業員や単身赴任でなかなか子どもに会えない従業員の気持ちを考えるようになりました。

田中 以前の職場では、子どものために早く帰ったり休みを取ったりできる雰囲気ではありませんでした。そのような社会を変えたくて、今の会社では**積極的に子育てができる風土づくりに取り組んでいます。**



知事 イクボスになるきっかけは、「自分自身の経験」と「一緒に働いている仲間への思い」が大きく影響していると感じます。私も、女性職員から「知事が育児休暇を取得すれば、男性職員が取りやすくなる」と言われて育児休暇を取得した経緯があります。

イクボスとして どんな課題を感じているか

越村 仕事と家庭の両立を支援する制度は整ってきました。ただ、**従業員が制度を活用できていない現状**はあるかと思っています。

田中 男性の育児参画や女性の社会参画に対する考え方について、私の親の世代とは**ギャップ**があり、それを埋めるのはなかなか難しいです。

———そういった課題に対して、 何か解決策などはありますか？

石川 制度を活用しやすい職場にするために、雰囲気の良い場づくりをめざしています。具体的には、**従業員が「お互いさま」の気持ちを持ち、「ありがとう」と言い合える職場**になることです。そうすることで制度の活用にもつながっていくと思っています。

山下 私の会社では、**社長や経営幹部が率先して有給休暇を取得する**などして、従業員が休みやすい風土となるよう心がけています。

越村 私の会社でもトップ自らが率先して行動をしてきているほか、**管理職がどのような職場にしたいか、そのための具体的な行動などを宣言して職場に掲げることで、社員全員がめざす姿をいつでも見えるようにしています。**

イクボスの取組を どうやったら広げられるのか

石川 職場の風土づくりはとても難しいですが、**上司からどンドン声掛けをして雰囲気を作っていく**



ことが大事だと思います。また、実際に育児休業などを取得した人が、「やってよかった」と感じたことを、これから取る人たちに伝えていくのも大事だと思います。

田中 経営者が「イクボス」の重要性を認識し、**社内で発信し続けることで本気が伝わっていく**と思います。

山下 業種や職場によって働き方に対する考え方や取組はさまざまです。それも踏まえて、**どうやって多くの人を巻き込んでいくのかを考えていくことが大事**だと思います。

越村 私の職場では、「バースデー休暇」などの有給休暇の取得を促す制度があります。トップからは、「管理職が率先して取得しないと、部下は取りにくいよ」と言われていますが、**管理職が自ら率先して従業員の見本となるように行動していくこと**が、次につながっていくことになると思います。

知事 イクボスや働き方改革を、**従業員の「福利厚生」としてではなく、組織の「経営戦略」であるとの考え方の転換**ができていない企業は、取組が進んでいると思います。引き続き、量的にも質的にも、イクボスが增えるように努力していきたいと思っています。

トークの内容は、ガクレポが取材してまとめてくれました。



ガクレポ

県内で熱い思いを持って行動している企業やNPOを取材し、その素敵な取組をつたえ・つなげることを目標としている学生団体。



問い合わせ



三重県子ども・福祉部 少子化対策課
TEL : 059-224-2404 FAX : 059-224-2270
Mail : shoshika@pref.mie.jp

みえの育児男子プロジェクト 検索 🔍

主催 三重県 **後援** 三重労働局

協賛 (株)伊賀の里 モクモク手づくりファーム・NEMU RESORT・里創人^{リマート} 熊野倶楽部

Special Thanks

ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえのエピソード募集の広報にあたって、サポーターとして次の団体にご協力いただきました。

(株)中部システムセンター・子育て応援プロジェクト☆バイン・(有)松林工業・チームせいせん・(株)マサグループ・
パバスマイル四日市・(株)日本開発研究所三重・住友電装(株)・(有)北山建築・NPO法人Mブリッジ・ミエメン・
子育て心理カウンセラーCLUB〜にこりん〜・日本政策金融公庫 津支店・(株)百五銀行・
生活協同組合コープみえ・万協製菓(株)・NPO法人マザーズライフサポーター